



全日本アマチュア無線連盟



JA1ITJ 萩谷さんが昨年暮れにアンテナを交換しました。RTTYでのDXCCを挑戦中、100は超えたので、200への挑戦でしょうね。Activeに電波が出ることを期待しています。(JA1PBV)

土浦アマチュア無線クラブニュース 平成24年2月号

お 知 ら せ

JH1WGP 大木 武

★ 新春恒例ボウリング大会近づく

日時： 2月5日（日） 9時30分集合、10時スタート

場所： 大学ボール

会費： 千円（一人） 参加局は遅れないようにご協力ください。

★ 土浦アマチュア無線クラブ総会、レピータ管理団体総会

下記日程にてクラブ総会を開催します。出来るだけ多くの皆さんが出席出来るようお願いいたします。

日時： 3月18日（日）

時間： 13:00～

場所： 四中地区公民館（予定）

昨年までの二中地区公民館から変更になりました。お間違いの無い様にしてください。

クラブ総会終了後土浦レピータ管理団体の総会を開催します

DXCC 75周年記念アワード

J11WLL 小澤 靖

DXCC アワードは 1937 年から発行が開始され、2012 年で 75 年を迎えました。

ARRL では、DXCC アワードの 75 周年を記念した記念アワード「ARRL Diamond DXCC Challenge」を発行します。

「ARRL Diamond DXCC Challenge」は、2012 年 1 月 1 日 00:00～12 月 31 日 23:59 (UTC) の間に Diamond DXCC List (1937 DXCC List (January, 1937 QST pages52-3)、231 の国や地域が記載されている) のうち、100 の国や地域と交信することで申請できるものです。

対象となるバンドは全てのアマチュアバンドで、MIX/BAND、MIX モードのアワードとしての発行となりますので、バンドやモードの特記は希望できません。パワーによる特記はありませんが、100 の本賞獲得後も 125、150、175、200、225 の単位でステッカーが申請できます。

なおこのアワードの申請に当たって、QSL カードの所持証明の必要はありません。交信だけで申請できます。 申請料 13 ドル ステッカー 2 ドル

1937 年当時の 231 カントリーが QSO 対象です。リスト希望の方は J11WLL まで Eメールで請求してください。添付して送ります。

尚、申請書は現時点でまだ出来上がっていません。

コンテストで稼ぐのが一番ですが、意外に 100 カントリーは難しいかもしれません。

第 31 回 JARL 茨城県支部賀詞交換会

JF1MFE 久松 満男

1月14日茨城県支部賀詞交歓会が牛久沼サイドのホテルレイクサイドつくばにて40数名の参加者にて賑やかに開催されました。

本年は参加者が少し少なかったけど？JH1WFK 深津支部長の挨拶で始まり、JARL 新副会長 JH1UBU 根本紀正様のご祝辞を戴きました後に急遽、司会者より海外より帰国の近況報告をとの命を受けた JA1PBV 伊藤さん、一瞬目をまわろくしましたがさすがてきぱきと報告をいたしました。

PBV 局はこの為に海外より早めに帰国し14日は午後他の行事に顔を出して賀詞交歓会に駆けつけてくれました。

JA1SVV 磯崎さんの乾杯にて宴会に移り和やかに歓談に入り牛シャブ成るもので話が弾みました。

賑やかに歓談の中、待望の抽選会が始まり、今年は良いもので数が少なくチャンスは6名の方に？JF1KZD 池田さんの野菜の寄付もあって1つ増えまして皆さん喜んでましたね。・

1位に JA1EHQ 深谷さん 144 の 5 エレ八木アンテナ 2位に JO1DDO 大子クラブの矢田部さんの奥様が 430 の 10 エレ八木アンテナ 3位が JG1WMN 葛綿さん安定化電源ずばり、ねらってたんだよと、土浦クラブと大子クラブで良いところを獲得してしまった、他の方々には申し訳ない、！！

それにしても、今回は参加者が土浦クラブ、古河クラブ、大子クラブで占めたかなとゆう感じ、こんな事はめずらしい。

参加者

JA1EHQ JA1LIS JA1IOA JA1PBV JE1RLK JF1KZD JF1MFE
JF1PEL JG1WMN



アメリカ西海岸めぐり 8日間 その2

JH1WGP 大木 武

定刻通りサンフランシスコ発 06:08分 ラスベガス到着 07:47分 これよりバスにて古き佳きルート 66 を通り世界遺産グランドキャニオンに向かう。



1926年シカゴ、サンタモニカ間 3,755Kmが創設されたルート66も1985年州間高速道路完成により廃線となった。一部旧66号(Historic Route66)として国指定景観街道に指定されている。我々の年代にとっては偉大なるアメリカの一



部だ。

広い広いアメリカ・ラスベガスから約7時間後グランドキャニオンに到着。露出された岩は何億年もかけてコロラド川の浸食によって形成されたとあるが何層にもなった岩肌を撮るのは難しい。

全長460Km、高さ1,600m 途方もない大渓谷でその下にはコロラド川が流れている。



世界遺産でもあるこの台地、世界中から観光客がやってくる。日本人も多いがそれより欧米人が多いように見えた。今日も素晴らしい天気恵まれた。

夜は、大変寒くなり皆さん真冬の格好で夜空を見たがあまり感動もなくそれより近くのスーパーでお土産を探すのに苦労していたようです。ともかく日本のように何処の観光地へ行ってもお土産店が並んでいることは基本的にない

と説明の通りだがやはり家族や友人に買わなきゃならないのが日本人でしょう・・・私も寒いのでスーパーに入りましたが所詮スーパー、何も買うもの無し。それでも女性軍は買っていました。

尚、お決まりのサンセット観賞は、年のせいかな？？感動・・・まあまあ・・・

公園内ロッジに宿泊し朝は、ビューポイント「デザートビュー」からグランドキャニオン、眼下のコロラド川も見られて大自然の朝日を浴びた壮大な景色に感動！！

この景色も見納め約 2 時間かけて Monument Valley に向かう。



途中、不毛地帯の中を何処までも続く送電線、所々に点々と住宅がありどの様に暮らしているのか？

みずぼらしい低圧の電柱が建っているのが電気はありそうだが水はどうして確保しているのかなど思いながら車窓からカメラを向ける。前号でも触れたが高校時代見た大好きな西部劇の舞台となった Monument Valley は今回のツアーで一番気に入った所だ。



ここは、国立公園でも世界遺産でもなく

アメリカインディアン、ナバホ族の管理下に於かれている。インディアンにはアパッチ、スー族など西部劇にはなじみだがこのナバホ族人口は、約 40 万人と一番多くアメリカの中に独立した国を持っているという。

天気に恵まれたと書いたが実は昨日、きょうの場所も 300 日は晴天になる。周りは空気を汚す施設もなく音もなく

空は何処までも青く時間がゆっくり進む感じです。この西部劇の舞台に立ち馬ならぬトラックで砂塵を上げて駆け巡った事に大変満足しました感謝です。



ここには観光人のためにレストランが点在していますが我々の利用

したレストランには、氷や水が豊富にあり、昼食は新鮮な野菜の入ったナバホ名物ナバホタコは想像以上に美味しくカレーの味がしました。かなりアレンジしているなど思わずにはいられない。電気や水は何処からくる？この砂漠地帯から想像がつかない。次号につづく



ロボットジャパン 3rd

JR1CCP 長塚 清

2012年1月8日に東京の築地本願のブディスホールでロボットジャパン 3rd というイベントがありました。

大学2年の次男が出場するというので見に行きました。二足歩行ロボットの研究会に入っている様で帰省した時にも、何やらゴソゴソやっているのは知っていました。ペアで参加する仲間が成人式のため不参加となり、チケットが廻ってきたのが実状です。どんなことをやっているのか興味もあり出かけることになりました。思っていた通り・・・ニッチなオタクの雰囲気かむんむんのイベントでした。(※まあ～ニッチでオタク系は私たちの趣味も同じです)・・・仲間内で楽しんでいる感じ。

イベントは大きく3つの部門があり①バトル、②ダンス、③一発芸。バトル部門は、重量2kgを境にライト級・バンタム級の2階級があり、次男の機体はライト級に参加。10台程のロボットが3分間3ダウン制のトーナメントで戦います。残念ながら2回戦敗退となってしまいましたが、小型軽量の機体はキビキビと動き回りかなり善戦したと思います。試合のインターバルでの充電不足のため2回戦では精彩を欠いた感じでした。

(敗退後のインタビュー→)

それぞれロボットは、独自の動きをプログラムしておりとても面白く興味深く見る事ができました。関節を駆動するサーボモーターの数やトルク、機体の構造、強度、重量などの総合バランスが強さに現れたようです。リーチを長くすると、腕が重くなり、強力なサーボ、重量増加、重心が高くなり倒れ易くなるなどなど結構奥が深いようです。今回のロボットを見て、

回路図など電気的な物と異なり、構造・機構・駆動・制動・重量など機械的な工夫や工作技術に感心するとともに大きな興味覚えました。無線的にはアンテナの自作にも応用ができると思います。トルク10kg/cmほどのサーボモーターならバリコンやロータリースイッチ、接点の駆動も可能のように思われ、何かに応用できそうな気がしています。通勤時間に想像をめぐらす楽しみがまたできました。



西アフリカの旅

JA1PBV 伊藤 寧夫

先月号の最終ページに少し載せましたが、今回はもう少し詳しく書きます。

2011年12月13日成田を発ちました。旅の計画は一ヶ月ほど前に立てました。最初のアフリカはガーナに行くことにして航空券を探しました。荷物が多いので預け入れの荷物を二つ無料で積めるトルコ航空を選びました。前年も西アフリカに行きましたが同じ航空会社です。イスタンブールで乗り換えますが、24時間以内の乗継であればホテルに無料で泊めてくれます。写真に書きましたが、9,000km+6,000km程の距離を機内で過ごします。タバコだめ、お酒沢山です。(ちなみにトルコはイスラムの国です。現地の方は飲みませんが、飛行機を利用する外国人は飲めます)



前回は、ダカール（セネガル）に降りて、後は現地で航空券を買いカーボベルデとギニアビサウに行きました。無論、いずれの国でも電波を出してきましたが、サイクル 24 の恩恵を受けず、あまり交信できませんでした。

今回はガーナまでは行くことにしましたが、他の国は決めていませんでした。免許を取るための資料は 10 カ国ほど用意しましたが、治安や航空券の手配、日程等の都合で現地で行く先を決めようと考えていました。私にとってはいつもと同じたびの仕方です。

ガーナには 14 日の深夜に着きました。知り合いのガーナ国籍の友達が空港で待っていてくれました。彼らが見つけていてくれたホテル（現地人しか泊まらない）には渋滞がひどくタクシーで 3 時間ほどかかりました。水道無しでヤモリとゴキブリ付きでした。汲み置きの水を浴び、汗を流し寝るだけでした。

翌朝、アンテナをどうするかと宿を探検、無線向きで無いので宿替えをしました。散歩をしながら近所に無いかと詮索すると隣もホテルでした、早速、交渉に入ると屋上のテラスは使い放題との了解を得て引越しをしました。

宿を決めたので今度は免許の申請です。あいにくと高速道路の工事中で片道 3 時間ほどで中心街までかかりました。調べていった住所には事務所が無く 3 度ほど探し回りやっこのことで探し当てました。ガーナとトーゴ、ベナンに行きましたが、免許申請には事務所探しから苦労します。

ガーナは英語圏の国、トーゴとベナンはフランス語圏の国。いずれにしる言葉のハンディには苦労します。

免許申請には、日本とアメリカの免許を添付しました。その他にアマチュア無線をした
い旨の要望書を書きます。氏名、住所、パスポート情報、VISA 情報、運用場所、犯罪歴、
学歴、職歴と言ったところが主な点です。

ガーナでは三日で下ろすといった免許が 7 日かかり、トーゴとベナンでは 4 日ほどか
かりました。



4 週間の旅
は、ガーナで 2
週間使い、ト
ーゴとベナン
は各 1 週間し
かいられませ
んでした。帰
国を延ばした
かったのです
が、飲み会が
二つあり、涙
を吞んで帰っ
てきました。

私の泊まっ

たホテルは、皆さんが旅をするときに泊まるホテルのように星が沢山光るホテルではあり
ません。現地人が利用するホテルです。朝食も無かったり、1 日中、一晩中音楽が大音量
でなっているようなところ。でも、現地の人たちや彼らの日常生活にたっぷりつかれ
るので私にとって居心地は最高です。三ヶ国で 6,700QSO しか出来ませんでした。沢山、
日本の局と交信できました。(誕生日を迎えるにはアフリカが一番！)

QSL カードは、現地の子供達と一緒にとった写真を使いました。いかがでしょうか？



皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構です
ので、連絡してください。

平成 23 年度 第 11 号	通巻 435 号	JARL 登録番号 14-1-0018
発行日：平成 24 年 2 月 1 日	発行者：土浦アマチュア無線クラブ 事務局	
オンエア ミーティング：毎週月曜日	PM9:00~	JR1VG レピータ (439.70MHz)